

| | | |
|-------------|-------------------|--------|
| 構成 I | 報告課題第2回 解説 | 年 組 氏名 |
|-------------|-------------------|--------|

画面構成と分割について

●構成について

絵画やイラストレーション、グラフィックデザインなど、平面作品制作に取り組む際の造形要素として、「形」「色」「テクスチャ（質感）」「構成」が存在します。

この四つの造形要素の中でも「構成」は、「色」や「形」などと違い、作品内に配置された複数の造形要素全体を取り扱うため、他の造形要素よりも複雑であり重要な役割りを果たしていると言えます。

「構成 I」では、様々な構成について学んでいきたいと思えます。

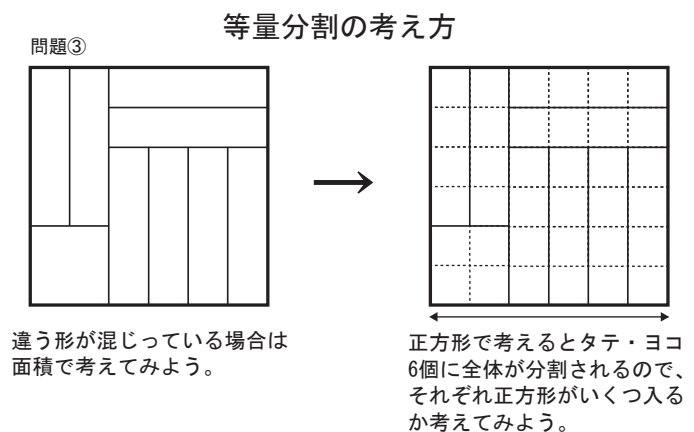
●分割と配置

画面や空間の構成には、形を分割して構成する場合と、さまざまな形を用いて構成する場合があります。

分割する場合の方法として、課題にあるように全く同じ形の場合を「等形分割」、形は違うが面積や分量が同じ場合を「等量分割」と呼びます。

●設題 1（解説）

ここでは 15 種類の分割された構成が出題されています。右図の解説を参考にして「等形分割」には○印、「等量分割」には△印、どちらにも当てはまらない場合は × 印を記入してください。



●設題 2（解説）

次は対象となる構成について学びます。

対称の構成には左右対称・線対称・点対称などがあります。この設題では線対称と点対称、それぞれ当てはまる図形を選んで答えましょう。

線対称・点対称の定義

- ・線対称：「対称の軸」で折り曲げると図形がぴったり重なる対称の軸が存在する。
- ・点対称：「対称の中心」で 180° 回転させたら元の図形と重なる、対称の中心が存在する。

